

令和6年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

《 開催地挨拶 》



射水市 夏野 元志 市長

ご紹介いただきました、開催地であります富山県射水市、市長の夏野元志でございます。トップバッターでの挨拶ということで大変恐縮ですけれども、開催地ということでご挨拶させていただきたいと思っております。まず、冒頭ではございますが、1月1日に発生をいたしました能登半島地震、そして先月能登半島を襲いました線状降水帯により甚大な被害が発生をしております。被害に遭われた地域の皆さん、また会員の皆さん、心からお見舞いを申し上げます。現在、被災された地域においては、まさに懸命の復旧作業が行われているところであります。ご支援いただいております自治体、また関係機関の皆様方からは、被災地の復旧に向けて様々なご支援をいただいているところでありまして、私からも、この場をお借りして感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。非常に厳しい状況の中ではありますが、1日も早く復旧を成し遂げることができるよう、また復興を成し遂げることができるよう、皆様方には引き続きのご支援を賜りますようお願いを申し上げます。射水市におきましても、1月1日の地震の際、震度5強を観測いたしました。特に港湾地域においては液状化が発生し、甚大な被害が発生したところであります。ただ、港湾につきましては、国土交通省の皆さん、さらには富山県の皆さんをはじめ関係機関の皆様方のご尽力によりまして、港湾機能を止めることなく無事運行しているという状況でありますし、今、本格的な復旧に向けての取り組みも鋭意進めていただいているところであります。このご支援、ご協力に対しまして、改めて重ねて感謝を申し上げます。災害か

らの復旧復興は非常に時間がかかるわけでありませけれども、是非、一致団結をしながら、また多くの皆様からのご支援もいただきながら、1日も早く復興を成し遂げ、笑顔でこのネットワークの会員の皆さんが一堂に会することができることを心から願っております。どうか皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、改めてではあります、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会ということで、全国各地からこのように多くの皆様方、関係機関の皆様方にもご参加をいただいて、ここ射水市でこの総会を開催いただくこと、本当に私どもとしましても大変大きな喜びであります。お越しいただいた皆様方に心から感謝申し上げます。そしてまた、歓迎を申し上げます。本当にありがとうございます。ようこそ射水にお越しいただきました。

ここで射水市の紹介を少しだけさせていただきます。射水市は、人口約9万人、そしてまた市のエリアにつきましても、半径7キロの円にすっぽりと地域全域が入ってしまうという大変コンパクトな市でございます。富山県の中で言いますと、県庁所在地である富山市、そして第2の都市高岡市の中間にあり、富山県のほぼ真ん中に位置しております。交通インフラにつきましても、高速道路をはじめとした道路交通ネットワーク、鉄道、そして港は国際拠点港湾伏木富山港の中核をなす富山新港を有しており、物流・人流の大変活発な地域であると自負をしております。特に港につきましても、元々この射水新湊の地域は古くから放生津と言われている地域でありまして、北前船の交易で栄えた地域でございました。昭和43年にここにあった潟を掘り込みまして港湾を整備し、昭和43年4月に富山新港が開港しました。同じく整備されました背後工業地帯には、今約90社の工場が立地をしております。富山県内の経済はもちろん、北陸の経済の発展においても大きな役割を担ってきたと考えております。また、この港のエリアには他にも港を東西につなぐ日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋があります。その新湊大橋のすぐ袂に、初代の練習帆船海王丸が常時係留されている海王丸パークがあります。この海王丸と新湊大橋、そして晴れた日にはその奥に立山連峰を望むこの景観が大変素晴らしいということで、県内でも有数の観光スポットとなっております。

さらには、この新湊の市街地の中に内川という運河があります。運河の両岸に漁船が停泊しておりまして、水面と地面、また民家が非常に近い景観にあるということで、ここにしかない魅力と言いますか、この港町の生活と密着したような風景が他にはないということで、最近移住者も増えてきて空き家を改装したお店やカフェ、民泊や飲食店などをオープンされる方も増えてきているエリアでございます。実は、この内川エリアで今ちょう

ど竹を使ったライトアップするイベントもしておりますので、もしお時間があれば夜に行っていたけるとよいのですが、雨が心配な状況です。新湊大橋や海王丸パーク、内川など射水市の港湾沿岸エリアには、大変魅力的な地域資源が多く存在しているということから、射水市ではこのエリアを射水ベイエリアと称しております、この地域が誇る資源の魅力を磨き高めながら、その資源を生かした様々な取り組みも行っているところであります。ご参加いただいた皆さんには、どうかこの機会に射水市の魅力に少しでも触れていただいて、ご堪能いただき、楽しんでいただければありがたいと思っております。この日本海にぎわい・交流海道ネットワーク会員の皆さん、また関係機関の皆さんが一堂に会して、様々な情報交換をしながら、また交流・絆も深めながら、この日本海沿岸エリアが持つ、地理的・歴史的・経済的・文化的なつながりを確認し合い、ネットワークを活かして連携を図り地域の発展、活性化につなげていける会議となり、実りあるものになることを心から祈念したいと思います。また、そうなるように私ども精一杯、おもてなしと言いますか、進めさせていただきたいと思っております。不手際があるかもしれませんが、ご容赦をいただいて楽しんでいただければと思います。ご挨拶これで結びにさせていただきますが、ご参加いただいております港湾都市の皆さん、また関係機関の皆様方のご隆盛、それぞれの皆さんのご多幸、ご活躍をお祈りさせていただいて、ご挨拶とさせていただきます。今日は、ようこそお越しいただきました。本当にありがとうございます。よろしくお願いたします。